



し え ん 便 り

R7年1月
発行



明けましておめでとうございます。冬休みも終わり、賑やかなみくまの支援学校が戻ってきました。今年度も残すところあと一学期。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



教育相談・巡回相談へのご協力、ありがとうございます。

教育相談

みくまの支援学校では、子どもの成長・発達や学習で気になることについて、幼児や新宮東牟婁地域の小学生と、保護者・保育園・幼稚園・各学校の先生方を対象に教育相談を行っています。令和6年度は、12月まで、合わせて35名の方々の相談を承りました。

巡回相談

保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等へ担当者が訪問させていただき、相談を実施する巡回相談を行っています。令和6年度は同じく12月まで、28件の巡回相談を実施し、教員に対する支援や、特別支援教育に関する相談・情報提供などを行いました。

○巡回相談後にはアンケートの記述もお願いしております。主なご回答を紹介します。

- ・本来の子どもの良い部分を見逃してしまっていた自分に気づき、改めて子ども達の良い部分を見ていけるようになった。
- ・困っていることへの具体的な支援の方法を知ることができました
- ・言語発達に遅れのある児童とのコミュニケーションのとり方を、教えていただいた。
- ・児童の気持ちをわかって待つことも大切というお話を、関わる者で共有しました。

※教育相談・巡回相談について、詳しくは「みくまの支援学校ホームページ教育相談・巡回相談」をご覧ください。



はじめての巡回相談

「巡回相談って聞いたことあるけど、実際何をするんだろう？」そう思っている方も多いのではないかと思います。私も正直なところ、あまりイメージができていませんでした。そんな新卒1年目のコーディネーター鍋屋が、初めて巡回相談に同行させていただいて感じたことを、お伝えさせてい

ただきたいと思います。

巡回相談とは、地域の学校からの相談を受け、児童生徒が必要とする支援の内容や方法を明らかにするために、特別支援学校の担当者が訪問して助言する取り組みのことです。

今回は地域の小学校に、本校のコーディネーター3名が訪問しました。まずは、特別支援教育で用いている支援アイデアについて担当者から講義をさせていただいた後、PCAJIP 法という検討方法を用いて事例検討会を行いました。本校の担当者は司会・記録として参加し、主に対象校の先生方に意見を出し合っていました。さすが普段から児童に直接関わっている先生方、それぞれの知識や経験をもとに、たくさんアイデアが出てきました。

私は、「巡回相談」に対して、対象の児童生徒に対しての支援の方法を、“教える”というイメージを持っていました。しかし、私たちは直接子ども達に関わっているわけではありません。方法を提案して、実際に子ども達に関わっている先生方の中にある考えを引き出す助けをする役割をしているのだなと感じました。

巡回相談を通して特別支援教育の考え方を広めていくことによって、「子どもたちがどの学校を選択してもニーズに合った支援を受けることができる」、東牟婁地方全体でそんな地域になれば良いなあと、今回の同行を通して感じました。



みくまの支援学校の子どもとともに スクールカウンセラー 中瀬古

学校に通う子どもたちには、それぞれの「障害」や「特性」ゆえに、日常生活における困りごとを感じている子どもたちがいます。

みくまの支援学校では、そんな一人ひとりの子どもの行動から思いを理解し、集団の活動に無理に入れることはせず、お互いの信頼関係づくりを大切にしています。そのことが子どもたちの安心感につながっていると思います。

先日の文化祭「みくまのフェス」では、いつもは中々みんなと行動できない子どもも、仲間や教職員と一緒に、わくわくしながらダンスや合唱などを楽しんでいる…そのひとときを眺めさせてもらいました。

大人は子どもの将来のためを思うあまり、できる事を求めて焦り、学ぶ内容を押しつけがちですが、私もスクールカウンセラーとして、保護者・教職員、そして子どもたちの思いをつなぐ役割を務めて行きたいと考えています。

